

# 児山城の歴史を調べてみました

児山城は、児山氏の祖である児山朝定が鎌倉時代に築城したと言われています。児山朝定は宇都宮氏の五代將軍頼綱の孫にあたります。児山朝定の父である多功宗朝は現在の上三川町に多功城を築きました。旧石橋町地区の南側は下野国の豪族のひとつである小山氏の勢力圏であったため、児山城は多功城とともに宇都宮氏の勢力圏を守っていました。

児山城は姿川の東側の河岸段丘上に築城されました。城の周りには回の字に二重の大きな堀と土塁があります。築城当時の姿を残すため、昭和36年に県の指定史跡として指定されています。

児山城址の周辺には本城や西城、中城、北城など城を中心とした地名がついています。また、この地区には、戦国時代の区画割りが現在も残っています。

児山氏が没落した後も、その家臣団は帰農し児山城の近くに定着していったと考えられています。

児山って小さい山という意味だね。姿川のほうから見ると小高い山に見えるから児山って呼んだのかも。児山城そのものは無くなったけど、永く古く生きていくという意味を込めてその地域を古山と呼ぶようになったんじゃないかというお話もあったよ。ロマンのある話だね！



下古山地区ってとっても広いんだよね。児山城付近には鎌倉と奥州を結ぶ鎌倉街道が通っていたかもしれないんだって。

かつて児山城が下古山の中心地でしたが、日光街道が開通し石橋地区に宿場ができたことで経済活動が農業から商いへと変化しました。児山城の周りに住んでいた人々も商売をするために日光街道沿い（現在の通古山自治会周辺）へ移り住んだのかもしれない。

下古山においても、戦後には周辺の開発が進み、元は農地であった土地も住宅街へ変わっていきま



堀も現在はきれいに整備されています。



## つながッテルね！ 条例36条

### (国内交流)

第36条 市は、歴史及び文化等を共有する他の市町村との交流を積極的に図り、歴史及び文化等を大切にすまちづくりを推進するものとする。